

第296号 2021年5月9日

発行: 沖縄伴走ランナーネットワーク

伴ネットめいる

広報担当 大見謝辰男(担当者募集中)

問合せ先、大見謝、bannet03@hotmail.com

2021年度総会告知

伴ネット会計年度は4月1日スタートで、翌年3月31日に終了です。年度総会は、設立記念日5月20日前後に設定しています。今年度総会は、5月23日、日曜練習会后9時~12時、奥武山公園内体協会議室Aで実施します。例年、総会終了後に昼食会を開催しますが、コロナ感染防止のため去年から昼食会を自粛しています。

例年通り会計や活動報告をしますが、審議の大きなポイントは「コロナ禍のなかでどのように今年度の活動を盛り上げていくか」です。前年度はほとんどのマラソン大会やORCA(沖縄県ランナーズクラブ連合会)のイベントが中止になりました。今年度も見通しが不透明です。多くの会員等が総会に参加し、積極的な議論をしていただくようお願いします。

五輪聖火リレー報告

伴走仲間から、次の3組が5月1日の聖火リレーに出場しました。出場順にレポートを紹介します。

☆仲本 兼(単独走)

2019年12月末にオリンピック聖火ランナーとして選ばれ、翌年1月5日には伴ネット初走りでのタイムス社の取材等があり、トントン拍子に進んでいました。5月2日に公道でメンバーの声援を受けながら気持ちよく走れる事を夢描き準備していた矢先、リレーが始まる2日前の夜に1年延期が決まりました。

「そうだ！俺には時間がある、肉体改造！まずは減量だ！走り込みだ！」と昨年4月から走り込み体重8kg減量に成功するが、多分メンバーは誰も気付かないけどいいのです！

また、コロナまん延防止等の措置で、本島のランナーは5月1日は名護市民会館付近、2日は糸満平和記念公園での無観客での開催に変更されました。ガビーン！無観客！何だそれ！ドキドキしながら、オリンピック事務局からの連絡を待ちました。

本番1週間前、宮古島が、リレー中止の発表。感染拡大中！聖火リレー本当に開催できるのか、不安でしょうがないまま、家族とPCR検査を受け、当日までは何も無い事を祈り当日を待ちました。

ようやく当日の朝を迎え、天気も気分も上々！家族で、会場に向け出発。ジョニー宜野湾さんも同じ区間です。場を盛り上げ、うりひゃ〜で一じなとん！の掛声で、ランナー達の緊張がほぐれたようで、爆笑の中バスが出発。「ジョニーさん、ありがとう」持ち時間約1分30秒と短い時間でしたが、凄いシャッター音、女性スタッフからの応援、スターになった気分、めちゃくちゃ楽しかったです。

皆さんとゆんたくしながら、當間さんからは伴走頑張ってくださいねとお言葉を頂戴、聖火会場での夢のような1日が終わりました。伴ネット皆さん、これからも、宜しくお願いします。

☆増川育代(伴ネットやいま 平良常支部長の伴走)

平良支部長のコメントです。「視覚障がいになったときは毎日死にたいと考えていた。でも、生きていてよかった。聖火ランナーに選ばれ走ることができて、視覚に障がいがあってもいろんな事ができるということを伝えられた。伴ネットを作ってくれた大見謝さん、伴ネットやいまのみんな、応援してくれたみんなにほんとうにほんとうに感謝している。」

支部長は前日から取材の嵐でした。生い立ち、視覚障がい者となった経緯、伴ネットやいまでの活動、聖火リレーに対する思いなどいろんな質問に丁寧に答え、撮影もあり大忙し。当日も増川が迎えに行くついでに取材陣が撮影をしていました。

取材を切り上げていただき、取材陣に見送られながら集合場所へ。半袖半ズボンの白いウェアに着替えると、めちゃめちゃ速そうな支部長の出来上がりです。ふわふわの白髪、白いウェアの赤いラインとピンクのシューズがマッチして、黄色いロープが一段と映えます。映像でもロープがアッ

プになっていました。

730交差点に集まった人々から歓声があがりました。第一走者の支部長が持つトーチに聖火が灯った瞬間です。そしてゆっくりスタート。与那国の大太鼓、パーランクー、手作りの鳴り物や応援グッズ、「常さ~ん」「おぼあ~」「がんばれ~」の掛け声に、「ありがとう~!」と大きな声で答えながら聖火をぐっと持ち上げ200mを快走する支部長に胸が熱くなりました。第二走者へ聖火を無事に繋ぎ大役を果たした笑顔の支部長を見て、こんなにうれしいことはないと思いました。

伴ネットやいまで活動してきて本当に良かった!と思える最高に幸せな一日でした。唯一、ぶがりの一し(慰労会)ができなかったことだけが残念です。笑

☆渡邊光章(ロープランナーズ崎浜啓の伴走)

ガーン! 嘘だろ、伴走者のユニフォーム支給はナシだなんて…いや、ユニフォームやビブスが欲しいというわけではもちろんない。

それならそれで、もっとマンな恰好をしてきたと言いたいのだ。しかも、ビブスを羽織るだけではさながら(醜いアヒルの子)か(白米に小石)で、しかも伴ネットのマークやロゴが透けて見えるからと、左胸と背中に白いガムテープを貼られたのである。これは、もはや悪夢だ…ということはさておき、オリエンテーションで「トーチキスの際に、楽し気なポーズを」と催促され、慌てて前後の聖火ランナーに声をかけることにした。

二走は北部農林高生で、世界選手権へ出場した兄のようにオリンピック出場を目指すTTくん。四走は、一昨年肺がん手術を行い、聖火ランナーを機に病気に打ち勝ちたいというUMさん。

そして、「小生がカメラに向かって崎浜氏の背中を二回たたくので、それを合図にブイ・サインを二度水平に突き出す」ことで、二人の了解を得たのだが…著名人のみならず、聖火ランナーの一人ひとりにドラマがあり、(聖火)に夢や希望が込められているのだと。

日曜練習会等緊急連絡網

日曜練習会が夏時間では、悪天候で開催が困難の場合は、朝6時まで伴ネット掲示板に練習中止

を告知し、大見謝のパソコンにアドレスを登録している方へはBCC(団体送信相手に個人アドレスを非通知)で連絡しています。

いくつかの問題としては、大見謝のアドレスからの受信を拒否、個人受信は可能だがBCC受信は受け付けないなどの例が見られます。

緊急BCC送信が届いていない方は、今一度、広報のタイトルにある大見謝のアドレスへ送信連絡をお願いします。

今後の日曜練習会案

- ☆5月9日:通常練習、総会に向けてのミーティング
- ☆16日:通常練習
- ☆23日:通常練習後、9時~12時奥武山公園内体協会館会議室Aで総会、多くの参加を。
- ☆30日:通常練習
- ☆6月:基本的に通常練習
- ☆7月:フルマラソン完走講座スタート

ニュースあいくり

☆広報・伴ネットめいるは今年9月前後に300号発行の見込み。コロナワクチンが状況を大きく好転させるという希望をもって、300号発行記念イベントの提案をお願い。

☆4月25日にエントリーしていたORCA残波岬駅伝は、4月11日練習後のミーティングで、会員からコロナ感染防止対策のため出場反対の意見が多数を占め、参加をとりやめ。

☆会員からの寄贈など 玉城弘:切手、與那城瞳・楠邦子:金一封。

☆4月18日までの会員登録者 金城喜代美(きんじょう きよみ、元会員)、楠 邦子(くすのき くにこ、継続)、渡名喜興俊(となき こうしゅん、継続)、仲本啓子(なかもと けいこ、継続)、仲本幸伸(なかもと ゆきのぶ、継続)、與那城 瞳(よなしろ ひとみ、継続)はボランティア保険追加登録済。

☆新会員の太城彩(おおしろ あや)さんは、3月の伴走確認講習会から連続で参加し、4月11日で伴走講習全単位を取得。4月18日に伴走講習終了証を発行。

☆ボランティア活動保険の説明書を日曜練習会で配布中。